

◇ 令和4年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「笠縫東」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	23,197,737円	/	22,574,295円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等で対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
施設HPアドレス	http://ayumi.hoikuen.to/nobikko_kasanuihigashi/		2年目	25,483,292円		23,876,227円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等で対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定管理者名	社会福祉法人良友会		3年目	24,673,500円		29,822,279円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等で対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成14年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和4年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
小学校敷地内の特色を活かして、子ども一人ひとりの小学校での様子を聞く等、連携を図ると共にのびっ子前の芝生や運動場、遊具を利用して安全に遊び場の確保に努める。送迎時の保護者とのコミュニケーションを通して、のびっ子、家庭、小学校の姿を把握し、保護者と共に子どもたちの成長を共有する。 新型コロナウイルス感染予防対策に留意しながら、出来る限り、異年齢でのかかわりを大切に生活や遊びを進めていく。ICTシステム「コドモン」の導入により保護者との連絡方法を充実し、入退室の管理を円滑に進める。		人員配置、保育業務、学校・地域との連携など概ね適正な管理運営がなされている。苦情・要望への対応については迅速かつ丁寧に対応するよう改善し、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
小学校敷地内の特色を活かして、芝生や運動場で運動遊び(体幹)の活動をはじめ、ビジョントレーニングを実施し、遊びを通して、子どもたちの身体作りと健康維持に努めた。夏には近江富士花緑公園を利用して自然体験やバスを利用して国立民族学博物館、ニフレルへの遠足を実施する。法人施設の笠縫東児童センターを利用しスカイプでのフィリピンの小学生との英会話体験を実施し交流をした。(どちらも感染予防対策徹底のもと、少グループで実施) 子どもたちの自主性を大切にかかわり、子どもたち企画、準備、進行の毎月の誕生会をはじめ、夏休みの一大イベント“お楽しみ会”を子どもたち皆と話し合いながら開催する。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1,2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	新入所児、保護者が安心してのびっ子の環境、生活習慣を身につけられるように丁寧にかかわるよう努めた。法人内でAEDを利用した心肺蘇生法、エピペン使用法の研修を実施する。放課後児童支援員向けの研修に積極的に出席し、支援員全体で内容を共有し、資質向上に努めた。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、独自に救命講習やエピペン講習等実施し、支援員の質の向上を図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	キャリアアップ研修をはじめ、研修に全支援員が積極的に出席し、支援員一人ひとりの資質向上に努めた。普段より各支援員で記入しているヒヤリハットを定期的振り返り、年度末には取りまとめたものを支援員全員で周知し、危機管理意識の向上に努め、以降での事故防止に繋げた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。市が開催する研修にも積極的に参加し、また、独自でスキルアップセミナーを受講するなど支援員等の資質向上に努められた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1,2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月の誕生会や季節の行事では子どもたちの自主性に任せて活動を進めることに努めた。夏休みには法人こども園プールや近江富士花緑公園での自然体験活動等やバスを利用し、国立民俗学博物館、ニフレルへの遠足を実施、スカイプを利用して外国の子どもたちと交流し英会話体験を実施した。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。保育中の事故やトラブル等に対する対応の記録方法については、改善する必要がある。
	☆☆☆☆☆		☆☆	
	下半期評価	毎月の誕生会や季節の行事では子どもたちの自主性に任せて活動を進めることに努めた。感染拡大の状況を考慮しながら年間通して、運動遊び(体幹)を実施して身体作りはもちろん、運動遊びの内容を日常の遊びに取り入れる等すると共にビジョントレーニングを遊びの中で取り入れる等、保育の充実に努めた。	下半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2,3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりを各家庭に配信(コドモン)し、法人内施設のおたよりをこども園、小学校へも配布し、保護者や関係機関との連携を図った。また、学期末には個別懇談会を実施し、小学校に個別の子ども様子を伺う等、保護者と共に子どもの成長を共有できるよう努めた。コドモン(ICTシステム)を導入し連絡の迅速化に努めた。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。保育中の事故やトラブル等に対する保護者・児童への初期対応については、迅速かつ丁寧に対応する必要があった。
	☆☆☆☆☆		☆☆	
	下半期評価	おたよりを各家庭に配布した。また、誕生会、運動遊び(体幹)等、のびっ子での様子が保護者に見えるように努めた。子どもの家2支援、増築棟1支援で支援単位毎で過ごせるよう環境配置を変更し、日誌等、様式を見直し、子どもたちの姿をより把握して保育を進められるよう努めた。保護者アンケートの実施し、次年度への準備に努めた。	下半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3,4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	支援員による月2回の日常点検、年1回の年間点検を実施し、施設の維持管理に努めた。消防訓練では毎月の訓練をはじめ、セコムによる消防設備点検を実施した。支援員は出退勤時の検温、健康観察を実施し、感染拡大防止に努めた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練の実施された。毎月児童に様々な防災のテーマの話がされた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	支援員による月2回の日常点検、年1回の年間点検を実施し、施設の維持管理に努めた。飛沫防止板の設置等、より安全に生活できるよう感染対策に努める。ヒヤリハットを取りまとめ、支援員で周知して危機管理意識を高めるとともに、危険予知意識を高めることにも努めた。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練の実施された。毎月児童に様々な防災のテーマの話がされた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		